



# 赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」 令和3年2月福島県沖地震災害 (ボラサポ・福島県沖地震)報告

「支える人を支える」しくみ



## ■日本カーシェアリング協会

軽トラックの無償貸出を通じた生活復旧支援の活動を行いました。当協会名義で自動車保険に加入した軽トラックを3台準備し、協会のSNSと社会福祉協議会でのチラシ配布でアナウンスを実施。基本的に利用者自身の負担はガソリン代のみとし「自分自身で家財の搬出を行いたい」という地域住民のニーズに対応しました

### ●寄付者へのメッセージ●

皆様のおかげで「片付けの際、無料で軽トラックを借りられて助かりました」という声をたくさんいただきました。ご寄付いただきありがとうございます



## ■災害救援レスキューアシスト

技術系ボランティアとして屋根上作業、倒れた家具や建具の修理、倒木伐採や重機を利用した作業などを行いました。山と海に挟まれた風の強い地区で作業が難航したり、活動中に余震が発生するといった場面もありましたが、被災された皆様が安心して生活できるように努めました。今後も継続的な連絡・連携・訪問などに対応していきたいと思ひます

### ●寄付者へのメッセージ●

東日本大震災から10年を迎える直前の震災となり、どれほど苦しかっただろうと考えながらの活動でした。今後も見守り続けることで安心を届けたいと思ひます



## 寄付実績

「ボラサポ・福島県沖地震」では、多くの企業・団体・市民の皆さまからのご協力を頂きました。多大なご協力をいただきありがとうございました。

|      |             |
|------|-------------|
| 寄付総額 | 2,036,836 円 |
| 助成総額 | 3,310,000 円 |

\*不足額については、これまでのボラサポへのご寄付を充当させていただきました。

またボラサポでは災害発生に備えるため常時ご寄付を受付しております。引き続きご支援お願いいたします。

## ■寄付金の受入口座■

三井住友銀行 東京公務部 普通預金 口座番号 0162585 口座名●社会福祉法人中央共同募金会

※ 三井住友銀行 本支店間内のみ送金手数料が免除となります。

※ ボラサポへの寄付金は、社会福祉法人（特定公益増進法人）への寄付金として税制上の優遇措置（所得税、法人税）の適用対象となります。

<根拠法令等> 所得税法第78条 法人税法第37条

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」令和3年2月福島県沖地震（ボラサポ・福島県沖地震）

発行 2021年10月

社会福祉法人 中央共同募金会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

Tel●03-3581-3846 Fax●03-3581-5755

メール●kikin@c.akaihane.or.jp

ホームページ●<https://www.akaihane.or.jp/>

赤い羽根Facebook●<https://www.facebook.com/akaihane>

中央共同募金会Twitter●@akaihane\_chuo

赤い羽根の  
災害時支援HP



赤い羽根  
Facebookページ



社会福祉法人 中央共同募金会

## ボラサポ・福島県沖地震とは

令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震に伴い、福島県と宮城県では最大深度6強を観測し、福島県においては8市9町に災害救助法が適用されました。

今回、地震の揺れによる家屋倒壊は幸いにもわずかでしたが、その一方で屋根瓦の転落やズレ、家屋外壁の亀裂など一部損壊の建物が多くみられる状況で、かつ発災直後には水道の断水が発生しライフラインが停止するなど暮らしに対する多くの被害が発生しており、見えづらい被害に対する支援が必要とされました。

特に揺れの大きかった福島県や宮城県においては、現地の災害ボランティアセンターを中心に被災家屋に対する支援活動が展開され、沿岸部を中心にボランティアグループやNPO団体が雨漏りや屋根瓦の転落を防止する観点から屋根上にブルーシートの展張を行うなど技術を伴う活動や、倒れた家財道具の片付けなどの支援活動が展開されました。

こうした状況を受け中央共同募金会においては、令和3年2月福島県沖地震に伴う「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」（ボラサポ・福島県沖地震）の助成応募受付を行い、復旧活動を行うボランティアグループやNPO等を資金面で支援し、被災地と被災者を支える活動への助成を実施することとしました。

## 助成概要

当助成では、被災された住民の方々への新型コロナウイルス感染のリスクを回避する観点から「新型コロナウイルス感染症対策として、行政等が公表している活動にかかる留意事項等を確認のうえ、支援活動に従事する活動者に対し、毎日の検温や感染防止チェックリスト等の感染症予防措置を講じていること」を応募要件に加えました。活動日数30日以内の短期活動を行うボランティアグループ・NPO団体等を対象に、1団体当たりの助成額を50万円以内として募集を行ったところ、福島県ならびに宮城県で復旧活動に携わる12団体から、総額491万円の応募を受け付けました。

この応募内容を活動内容の点から分類すると、発災直後の緊急期における緊急支援・復旧支援活動を対象としたこともあり「被災家屋の片付け補助」が最も多く66.7%（8団体）。続いて「ボランティアセンター・避難所の運営支援」や「被災者のための物資の運搬」がともに41.7%（5団体）から応募がありました。また活動地域の点から分類すると、応募団体の91.7%（11団体）が宮城県亘理郡山元町、58.3%（7団体）が福島県相馬郡新地町での活動を予定しており、両県境の太平洋沿岸部における被害の大きさをうかがわせる結果となりました。（活動内容・活動地域ともに複数回答可）

これら応募案件について審査基準に基づき応募内容の審査を行った結果、9団体へ総額331万円の助成を決定しました。

### ■ 助成状況（全体状況）

2021年8月31日現在

|    | 応募 |             | 助成 |             |            |
|----|----|-------------|----|-------------|------------|
|    | 件数 | 助成額<br>(万円) | 件数 | 助成額<br>(万円) | 採択率<br>(%) |
| 合計 | 12 | 491         | 9  | 331         | 75.0       |

## 活動事例

「ボラサポ・福島県沖地震」の助成を受けて実施された活動の一部をご紹介します。

### ■ふらっとーほく

発災直後、断水が発生したため独居・移動困難の方を中心に水道水の配達、ニーズ調査等を実施。その後もニーズ調査・家財運搬を行うとともに地元コミュニティFMで情報発信を開始。社会福祉協議会による災害ボラセンが発足したあとは連携して活動しました。平時から感染症対策ができていたことで緊急期における支援体制の構築ができました

### ● 寄付者へのメッセージ ●

専門性の高い団体や行政が動く前のヒアリングや緊急支援の位置づけで行った活動でしたが、皆様のご支援のおかげで安心して支援に取り組むことができました



### ■DEF～災害エキスパートファーム

災害ボランティアセンターと連携したニーズ調査・活動順の調整、屋根瓦の転落や雨漏り防止のためのブルーシート張り、雨漏りする家屋からの家財搬出を中心に活動しました。また、実践講習会を開催することで近隣県の消防隊員に展張技術を伝えました。活動中も余震はありましたが、事故無く活動できたことは今後の活動でも活かしていきたいと思います

### ● 寄付者へのメッセージ ●

現地では東日本大震災の記憶も消えぬ中、今回被災した方も居ます。被災された方の心に寄り添う活動を今後も続けます。ご寄付ありがとうございました



### ■災害ボランティア 愛・知・人

ブルーシート張り、割れた瓦やブロック塀の運搬、倒れた家具の復旧・搬出などを行いました。ご高齢の世帯も多く遠慮がちな方も多くいらっしゃいましたが、活動を進めることで地域全体と信頼関係を築くことができました。屋根被害は見た目には分かりづらいのですが、わずかなズレから雨漏り・カビ発生につながるので、丁寧に作業を行いました

### ● 寄付者へのメッセージ ●

遠方からの交通費や安全のための備品を揃えることができ、事故もなく、たくさんの方の笑顔に出会えました。皆さまのご寄付に感謝いたします



### ■オペレーション・プレッシング・ジャパン

発災後まもなく断水が発生しましたが当地では農家が多く民家が離れて点在しており移動手段のない高齢世帯では給水所に向くことができないため、飲料水・衛生用品・非常食を配布する活動を家屋補修や家財の片付けと並行して行いました。コロナ禍もあり繋がるのが難しい状況下で「SOSを出せる状況があるか」を把握するよう努めて活動しました

### ● 寄付者へのメッセージ ●

私達は声をあげない・あげられない人にも手を伸ばす支援を心掛けています。これからもご支援ご理解よろしく願います。ご寄付ありがとうございました。

